



防音シート

リース品

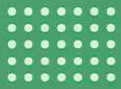
販売品

すぐれた防音効果
防災性能を兼ねたシート



防音





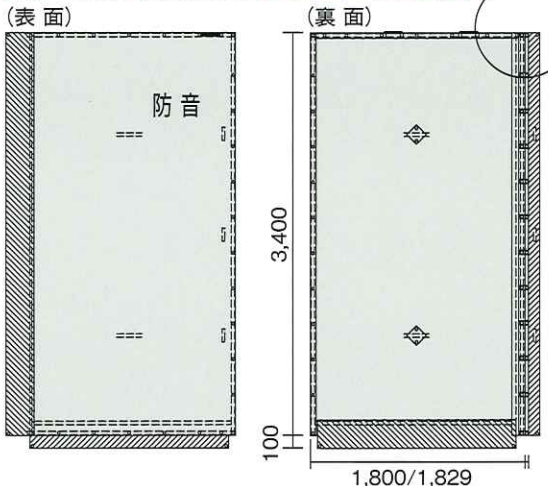
防音シート(インチ・メートルサイズ兼用)

シート類

周囲に優しく、高品質防音効果商品です。



■シート規格寸法(1.8×3.4(インチ・メートルサイズ兼用))



特長

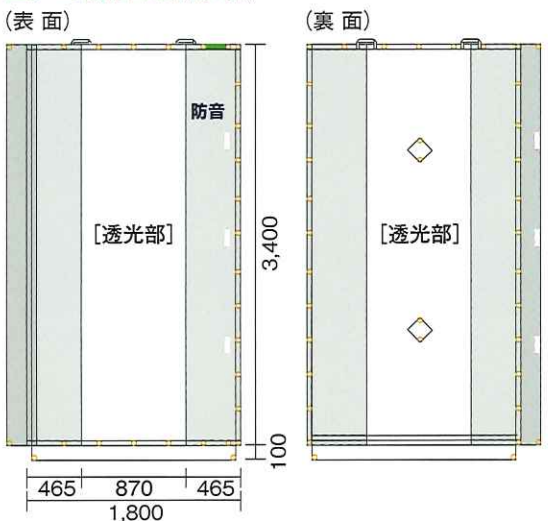
- 1.厚さ1.0mmのシートですが、柔軟で高密度のため、一般の工事用シートに比べ、優れた防音性を有します。
- 2.高強力ポリエステル基布に特別設計のPVC樹脂をコーティング加工していますので、強度に優れ繰り返し使用できます。
- 3.シート1枚の重量が10kgと軽量で、取扱いが簡単です。
- 4.オーバーラップ用の大型フラップにより、密閉性が高く、中の音が逃げにくい構造です。
- 5.特殊防災配合を施していますので自己消火性があり、消防法に定める基準に合格しています。



採光防音シート

作業環境に明かりを取り入れ、安全性を高めた防音シート

■シート規格寸法(1.8×3.4)



特長

- 1.防音効果はそのままに採光することで安全な作業環境を作りだします。
- 2.採光防音シートを張る事により、光が入り作業現場が明るくなります。
- 3.建築工事用シートに関するJIS規格の「防災I類」に合格しています。



寸法 (m)

防音シート	採光防音シート
1.8×3.4※	1.8×3.4
1.5×3.4	
1.2×3.4	
0.9×3.4	
0.6×3.4	

※インチ・メートル兼用

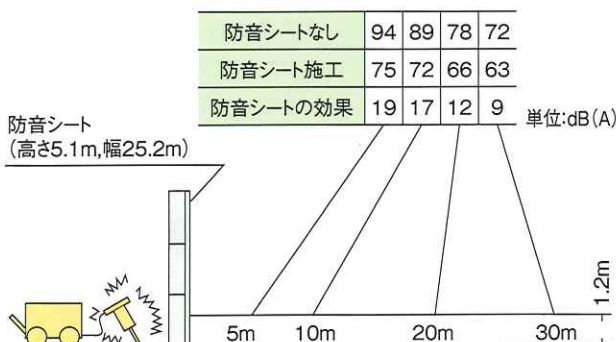
規格 (1.8m×3.4mの場合)

項目	防音シート		採光防音シート	
	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ
重量(kg/枚)	10		11	
厚さ(mm)	1.0		1.1	
引張強度(N/3cm)	1754	1734	1800	1900
引張伸度(%)	20	30	26	34
引裂強度(N)	380	382	435	503
防炎性(消防法)	適合			

※上記データは測定値であり保証値ではありません。

実測データ

防音シートの効果は、施工の状態(防音シートの高さ、音源又は、受音点からの距離、騒音源の種類等)により異なりますが、おおむね10～20dB(A)と、良好な結果が得られています。



遮音性能

品番	防音シート	採光防音シート
中心周波数(Hz)	音響透過損失(dB)	
125	7.1	7.2
160	5.7	8.1
200	6.4	7.8
250	7.4	8.7
315	8.5	9.9
400	9.8	10.6
500	11.3	11.4
630	12.1	12.3
800	13.4	14.0
1000	15.0	15.8
1250	17.1	17.4
1600	18.9	19.2
2000	20.6	21.1
2500	22.3	22.6
3150	23.9	23.9
4000	25.8	26.1

作業の種類	使用機械	騒音レベル
整地工事	ブルドーザー	59～65
	トラックショベル	72～78
	クラムシェル	65～75
	バックホウ	68～73
	パワーショベル	64～65
	ダンプトラック	77～80
基礎工事	ディーゼルハンマー	90～103
	ドロップハンマー	88～98
	アースオーガー	75～83
鉄筋工事	アースドリル	72～82
	リベットガン	80～86
コンクリート工事	インパクトレンチ	78
	コンクリートミキサー車	55～77
動力用機械	コンクリートポンプ車	67～74
	発電機	78～81
	可搬式圧縮機(スクルー式)	74～80
	可搬式圧縮機(ロータリー式)	73～86

ご使用上の注意

- 防音シートは、防炎製品ですが、「防炎」とは「不燃」とは異なり、あくまでも「燃えにくい」という性能を示しています。「防炎」とは小さな火源に接しても容易に燃え上がらず、もし着火しても際限なく燃え広がらないことを意味しています。
- 廃棄される場合は、廃棄物処理法、都道府県条例等に従って処理するか、認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

11 適用

この基準は、主として建築工事現場における足場等の仮設構造物の外側構面に設け、作業側からボルト等の物体が足場等の構面をこえて落下するのを防止するために用いるメッシュシートについて適用する。

12 定義

本基準でいうメッシュシートとは、難燃性の繊維又は防災加工を施した繊維を網状に編織したもの(網地)、もしくは合成繊維を網状に編織したもの(網地)に防災加工を施したものを縫製又は融着し、かつ、たて、よこ各辺の縁部にはとめ等の装着部を有し、鋼管等に取り付けできるものをいう。

13 材料等

メッシュシートの網地の材料等は、次によるものでなければならない。

- (1)メッシュシートの網地及び縫込みテープ等は次によること。
 - (ア)合成繊維であって、かつ、難燃性のもの又は防災加工を施したもの。
 - (イ)日本工業規格A8952(建築工事用シート)に定める表1の防災性を有するもの。
- (2)はとめの材料は、強度、性能に均一性を有し、著しい経年劣化をきたさないもので、かつ、耐蝕性を有すること。
- (3)縫込みロープを用いるものにあつては、これがナイロン等の合成繊維であること。

14 構造等

1.構造

メッシュシート等は、次の各号に定めるところに適合するものでなければならない。

- (1)メッシュシートの網地は、切れ、ほつれ、ゆがみ、織りむら等の使用上有害な欠点があつてはならないこと。
- (2)メッシュシートの各辺の縁部は、はとめ等が容易に外れない構造のものであること。
- (3)装着部にはとめを有するメッシュシートにあつては、次によること。
 - (ア)はとめの位置は、ピッチ35cm以下のもの。
 - (イ)はとめ金物の穴の大きさは、内径10mm以上のもの。
 - (ウ)メッシュシートの端部からはとめの穴の中心部までの距離は1.7cm以上のもの。

2.仕上がり寸法

メッシュシートの標準仕上がり寸法は、次表によるものとする。なお、はとめ以外のものを装着する方式のものの上がり寸法は、メッシュシート上下両端装着部の鋼管等に取付ける点の間隔とする。

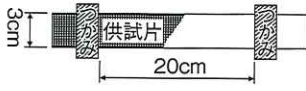
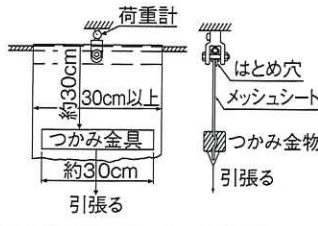
幅(cm)×長さ(cm)	幅(cm)×長さ(cm)
183 $\left(\pm\frac{2}{1}\right)$ ×510 $\left(\pm\frac{5}{1}\right)$	180 $\left(\pm\frac{2}{1}\right)$ ×480 $\left(\pm\frac{5}{1}\right)$
180 $\left(\pm\frac{2}{1}\right)$ ×510 $\left(\pm\frac{5}{1}\right)$	183 $\left(\pm\frac{2}{1}\right)$ ×340 $\left(\pm\frac{4}{1}\right)$
183 $\left(\pm\frac{2}{1}\right)$ ×480 $\left(\pm\frac{5}{1}\right)$	180 $\left(\pm\frac{2}{1}\right)$ ×340 $\left(\pm\frac{4}{1}\right)$

◎認定合格証



15 試験

試験の種類は、網地の引張試験、はとめ部の引張試験及び落下試験の3種類とし、それぞれ次表の左欄に定める試験方法による試験を行った場合に、それぞれ同表の右欄に定める強度等を有するものとする。

試験方法	強度等
<p>[5-1] 網地の引張試験</p> <p>網地の引張試験は、網地より取り出した幅3cmの供試片を、つかみ間隔が20cmとなるように試験機にかけ、引張速度が20±1cm/minとして試験を行い、引っ張り強さ及び伸びを求める。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1.引張強さは、1.47kN以上であること。 2.引張強さ(kN)と伸び(mm)との積の値は、68.6kN・mm以上であること。(上記の値は、たて方向、よこ方向のうち弱い方向の値をいう。)
<p>[5-2] はとめ部の引張試験</p> <p>次図に示すようにメッシュシートの縦方向及び横方向のそれぞれについてメッシュシートの縁から30cmのところまで、はとめがほぼ中央となるように約30cmのつかみ金物で固定して徐々に引っ張り、はとめが網地から外れるか、はとめ周辺の網地又は縫目が破れるときの荷重の最大値を測定する。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1.荷重0.49kNのときまでに外れ、破れ等の異常がないこと。 2.引張荷重の最大値が0.98kN以上であること。
<p>[5-3] 落下試験</p> <p>別図に示すようにメッシュシートを、水平に対し30°の傾斜を有するフレームわくに取り付け、同フレームわくの中心の縁面レベル直上4mから外径48.6mm、肉厚2.5mm、重量4.8kgの鋼管を垂直状態で落下させる。</p>	<p>落下体がメッシュシートを貫通しないこと。</p>

別図 メッシュシートの落下試験

